

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第5号 (2007・07)
事務局川西地区自主防災会

地域の自立と安全な生活

東京大学名誉教授 月尾 嘉男氏



日本は昔から地震、雷、火事、おやじと言われてきた。
信頼できるデータが分かるのは20世紀になってであるが、世界の死亡原因は①スペイン風邪2年間で4500万人、年間2250万人②第二次世界大戦年間1000万人弱③第一次世界大戦④バングラディッシュ台風数十万人⑤交通事故50万人⑥スマトラ沖地震28万人となっている。その結果20世紀の死亡原因は戦争、疫病、災害、事故と言われている。

死亡の原因と対策

戦争	回避	市民運動
病気	医療	予防医療
事故	撲滅	基盤整備
災害	防止	防災活動

ごく最近の人間の死亡原因

アメリカ人は肉を食べ過ぎて、肥満により、心臓病、ガン、脳出血などで亡くなっている。日本でも病気、事故、災害、火災が主な原因である。

1970年代半ば、フォード大統領は心臓病を少なくするため、200億円をかけ、食の調査を世界的に行った。結果、元禄時代の日本の食生活が最も良かった。精白しないあわ、ひえ、玄米などの穀類を食べ、旬の野菜と海藻と近海の子魚を食べているのが最も理想的だとした。1977年のレポートにより、アメリカは魚を食べるようになり、1万店の寿司屋が全米で増えてきた。

大気温度の上昇

石油、石炭、LPGなど化石燃料の使用により二酸化炭素濃度が、150年前から増加し、60年前から一層増加してきた。100年程度で0.9度も人為的に大気温度が上昇するのは異常である。

今後、100年で気温の上昇1~6.4度C、海面の上昇19~58cmが予想されている。もし、大気温度が4度C上昇で30億人が水不足になり、1.5~2.5度C上昇で20~30%も生物が絶滅するといわれている。



地域再生

増大する社会基盤維持費用により、安全だけでなく多面的、根本的なまちづくりができなくなり、古い建物などをうまく使って地域再生を図っていきつつある。

目標転換 社会の目標を変えていく

生産をいかに高めるかというGNPの向上を目指した目標は、社会基盤として重要であるが、さらに文化が非常に栄えている状態を目指すGNCが重要となってきている。



GNPからGNCへの転換

ダグラス・マ格雷イ(アメリカ)

「日本文化大國論(Japan's Gross National Cool)」(2002)

日本はまたもや新超大國の地位を構築しつつある。ポピュラーミュージックから家庭電子機器、建築からファッション、アニメーションから和食に至るまで、今日の日本は経済大國だった1980年代と比較して、文化大國と理解するのが正解である

GNPからGNCへの転換

GNP (Gross National Product)	GNC (Gross National Cool)
国家総生産力	国家総文化力
・工業社会の指標	・情報社会の指標
・生産能力の評価	・創造能力の評価
・画一社会の目標	・多様社会の目標
・国際競争を目的	・独自発展を目的

日本文化大国論（2002） Japan's Gross National Cool と呼ばれてきており、Googleのウェブサイトのアニメ利用調査で、①ファイナルファンタジー②スターウォーズ③ポケモン④ミッキーマウス⑤ガンダム⑥シンデレラ⑦ドラゴンボールと日本のアニメが大半を占めている。また、アメリカでは日本料理店が躍進しており、LAでは1から3位が日本すし店で占められ、全米では1万店を越す寿司店が躍進している。

GNPからGNH(Gross National Happiness)への転換

GNPからGNHへの転換
ジグミ・シンゲ・ワンチュク国王(ブータン)

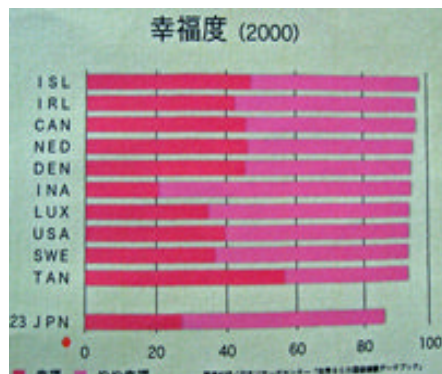
「国民総幸福量宣言」(1976)

GNHはGNPよりもはるかに重要である

人々の幸福な生活を可能にする自然環境、精神文明、文化伝統、歴史遺産なども破壊し、家族、友人、地域社会の連携までもも犠牲にする経済成長は人間の生活する国家の経済成長とはいわない

GNPからGNHへの転換

GNP (Gross National Product) 国家総生産力	GNH (Gross National Happiness) 国家総幸福度
<ul style="list-style-type: none"> 国家全体の指標 外側からの評価 計量可能な目標 量的発展を目的 	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人の指標 内側からの評価 計量不能な目標 質的転換を目的



2. 起こっては困ることから目をそらさない--南海地震に備える-

香川県防災局 防災指導監 乃田 俊信氏

起こっては困ることから
目をそらさない
(南海地震に備える)

香川県防災局
防災指導監 乃田 俊信

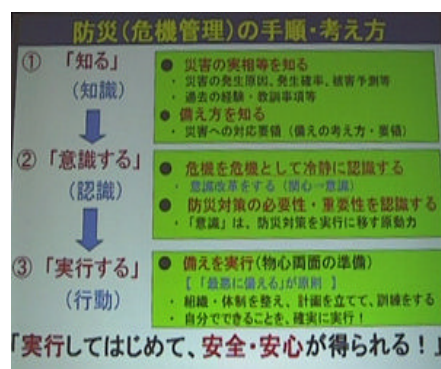
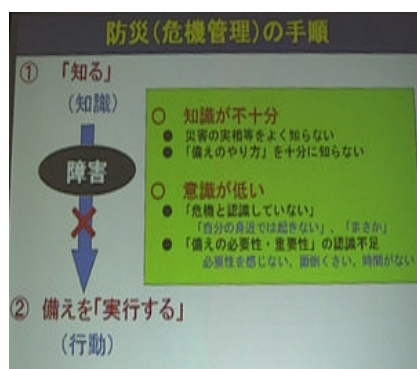
- I. 「知る」(敵を知り、己を知らば、百戦危うからず)
 1. 地震・津波はなぜ起きるのか?
 2. 「南海地震」を知ろう!(その時の被害状況は?)
 3. 阪神・淡路大震災の教訓
- II 「意識する」(百年兵を養うは、これ一日の為なり)
 1. 危機を危機として、冷静に認識する
 2. 「防災対策」の重要性を認識する。
 3. 香川県防災対策基本条例
 4. 自らの意識改革を!
- III 「実行する」(備えあれば、憂いなし)
自分でできる防災対策(自助)

危機管理

* 危機管理とは

○「起こって欲しくないこと、起こっては困ること」から目をそらすことなく、

○「万が一起きた場合には、どのように対処するのか」、また「そうならないために、常日頃からどうしておかなければならないのか」ということを考え(知り)、それに備えておく(実行すること)



地震を知る

I 「知る」
(敵を知り、己を知らば、百戦危うからず)

- 1 地震・津波はなぜ起きるのか?
- 2 「南海地震」を知ろう!
(その時の被害状況は?)
- 3 阪神・淡路大震災の教訓



南海地震

☆ 南海地震と発生確率

南海地震とは

- 紀伊半島沖～土佐湾沖の南海トラフで、過去90～150年間隔で繰り返して発生しているM8クラスの巨大地震
- 最近では、1946年に発生していることから、今世紀前半にも発生するおそれがあると言われている。

発生確率

- 今後30年以内: 50%程度、50年以内: 80～90%
- 2025年～2045年の発生確率が一番高いと言われている

(文部科学省、地震調査委員会:平成18年1月)

阪神大震災の教訓

☆ 南海地震の被害想定

○ 規模・震度等

- マグニチュード8.4(前提)
- 香川県の震度
全域で5弱又は5強、一部で6弱～6強
- 津波の状況
 - ・ 香川 : ほぼ全域で1m前後、一部で2m以上
 - ・ 高知、徳島 : ほぼ全域で5m前後、一部で10m以上

被害予測

- 建物被害: 全半壊2万棟以上
- 人的被害: 死傷者約3,500人、避難者1万人以上



建物などに閉じ込められた人々を
誰が救出したか

救助を必要とした人数: 約35,000人

誰が救出したか

- 隣・近所の人たち(地域住民)による救出
約27,000人(全体の約80%)
その内、90%近くが生存者
- 消防、自衛隊などの防災関係者による救出
約6,700人(全体の約20%)
その内、生存者は約12%

人命救助は時間との勝負!

3. わが街の紹介「住みたくなる町を目指して」 二番丁地区コミュニティ協議会



「住みたくなる町を目指して」

二番丁地区コミュニティ協議会(文責) 企画委員長 吉田 治

二番丁地区コミュニティ協議会は平成17年9月に発足しました。高松市の中で、最も遅く発足した協議会の一つです。追いつけ、追い越せを合言葉に地区全体でがんばっております。

二番丁地区は、江戸時代武家屋敷があり、最近ではサポートが賑わいを呈し、「古い町と新しい町」が同居する特徴のある地区です。

地区内には、連合自治会など約30団体があり、各団体からの推薦やボランティアの活動家など60名の委員のほか、サポーター(市の職員)や香川大学の先生や学生の皆さんも参加し、①青少年育成②福祉③環境・安全 ④生涯教育・スポーツ⑤広報⑥子ども部会の6部会で活動を進めております。何回かのワークショップの実施、企画委員会、各部会での協議で、今年3月にはコミュニティプランの取りまとめをしました。

二番丁地区コミュニティ協議会の重点プランの一つを紹介します。

二番丁地区名所・名物100選の選定

「古い町と新しい町」が同居する二番丁地区は名所(神社・仏閣が多い等)やいただきさんの姿も多く、獅子頭の製造、1000メートル位の通りに4軒の銭湯があるなど、他地区とは違う様相を示しており、未来都市のシンボルであるサポートには多くの人が集い楽しんでおります。サポートの賑わいを継続的なものにするため、地元市民として手助けできればと考えております。地区住民の協力を得ながら、名所・名物100選の対象を取りまとめ、聞き取り調査やアンケートを行い、小冊子を作成して、地区住民に紹介するなど誇りある郷土づくりを行っていきたくとがんばっております。それを成功させるには、より多くの人材が必要であり、特に若い人の感性を求めています。100選の選抜と同時に、人材探しという育成を同時に行わなければなりません。

自分の住んでいる地区を大切にすることが、高松・香川・日本・地球を愛することに繋がるとの思いで困難なこととは思いますが、成功を信じてがんばっております。

地区住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。